

言語処理学会

The Association for Natural Language Processing

言語処理学会事務局:

〒152 東京都目黒区大岡山 2-22-1  
東京工業大学 大学院情報理工学研究科  
計算工学専攻 田中研究室内  
tel: 03-5734-3046 fax: 03-5734-2915  
<http://www.crl.go.jp/nlp>

内容:

- 言語処理学会第4回通常総会報告
- 言語処理学会第5回年次大会(NLP-99)・併設ワークショップのお知らせ
  - 言語処理学会 第5回 年次大会(NLP-99)開催案内
  - 言語処理学会 第5回 年次大会 講演発表・ポスター発表申込書
  - 言語処理学会 第5回 年次大会併設ワークショップのご案内
  - 言語処理学会 第5回 年次大会 併設ワークショップ発表申込書
  - 言語処理学会 第5回 年次大会 参加申込書

- ★ 第4回通常総会を1998年6月8日に東京工業大学で開催いたしました。
- ★ 第5回年次大会は1999年3月15～19日に電気通信大学で開催いたします。発表申し込みの締切りは1999年1月8日(金)です。奮ってご応募ください。
- ★ 第5回年次大会に併設してワークショップ「構文解析－現状の分析と今後の展望－」を開催します。

## 言語処理学会第4回通常総会報告

### (1) 第4回通常総会次第

日時 1998年6月8日(月)15時30分～16時30分  
場所 東京工業大学 ベンチャービジネスラボラトリ  
1F プレゼンテーション室(石川台地区)  
(東京都目黒区大岡山 2-12-1, Tel.03-3726-1111)

### 総会次第

1. 開会
2. 会長挨拶
3. 第4回年次大会優秀発表賞授賞式
4. 議長選出
5. 1997年度活動報告
6. 1997年度決算報告, 監査報告
7. 1998年度事業計画提案
8. 1998年度予算計画提案
9. 1998年度評議員構成
10. 1998年度役員構成
11. 事務局郵便番号の改正(案)の件
12. 閉会

### (2) 1997年度事業報告

#### 1. 概要

言語処理学会発足から3年間の活動を踏まえて、理事会および編集委員会を中心に学会の基盤作りを進めました。第一に、編集委員を拡充し、特集号を企画するとともに、英文誌の刊行を目指した取り組みを行いました。また、それに合わせて、自然言語処理用語集の整備を進め、学会ホームページで公開しました。第二に、国語系と情報系の研究者の交流や突っ込んだ議論ができるよう年次大会のプログラムを編成しました。チュートリアルには103名が参加し、本会議にはポスター発表37件と一般発表140件の発表を得て332名が参加し、また、初めて開催した併設ワークショップには12件の発表を得て47名が参加しました。

#### 2. 会員現況(1998年3月31日現在)

正会員	567名
学生会員	125名
賛助会員	16組織(20口)
定期購読会員	31組織

#### 3. 会誌の発行

- ◇ 第4巻第2号(1997/4/10発行、通巻11号)  
巻頭言, 論文7編, 入会案内・執筆案内等会告
- ◇ 第4巻第3号(1997/7/10発行、通巻12号)  
巻頭言, 論文4編, 技術資料1編, 入会案内・執筆案内等会告
- ◇ 第4巻第4号(1997/10/10発行、通巻13号)  
巻頭言, 論文3編, 技術資料2編, 入会案内・執筆案内等会告

- ◇ 第5巻第1号(1998/1/10 発行、通巻14号)  
巻頭言、論文6編、技術資料1編、入会案内・執筆案内等会告

#### 4. 第4回年次大会の開催

- ◇ 開催期日: 1998年3月23日(月)～26日(木)
- ◇ 会場: 九州大学工学部(〒812-8581 福岡市東区箱崎6丁目10番1号)
- ◇ プログラム

##### [チュートリアル講演]

3月23日(月)

生成文法のめざすもの

齋藤 衛氏(南山大)

生成文法理論におけるパラメータ研究 — 日英語比較統語論の観点から

高野祐二氏(慶応大)

能動学習と自然言語処理

安倍直樹氏(NEC)

##### [招待講演]

3月24日(火)

激変する情報環境と対人コミュニケーション

橋元良明氏(東京大)

3月26日(木)

言語獲得と理解の脳内ネットワークモデル: 運動系列予測学習仮説

乾 敏郎氏(京都大)

##### [一般発表 ポスター発表]

3月24日(火)～25日(水) 37件

##### [一般発表 講演発表]

3月24日(火)～26日(木) 140件

##### [併設ワークショップ]

3月27日(金) 12件

#### ◇ 参加者数

	会員	学生会員	非会員	学生非会員	合計	予稿集のみ
チュートリアル講演	56	18	12	17	103	33
本会議	183	39	43	67	332	52
併設ワークショップ	35	2	7	3	47	38

#### ◇ 年次大会優秀発表賞

第4回年次大会実行委員会は年次大会優秀発表賞選定委員会を兼ねて審議を進めた結果、次の2件を第4回年次大会優秀発表賞として選定しました。

「サッカー実況システム MIKE における実時間文章生成」(B6-1)

田中久美子・橋田浩一・野田五十騎(電総研)

「統計に基づく部分係り受け解析」(Q2-5)

乾健太郎・白井清昭・田中穂積・徳永健伸(東工大)

#### 5. ニュースレターの発行

1997年度はニュースレター Vol.4 No.1～No.7 の7号を発行し、学会運営、学会誌論文募集、大会案内、学会主催・共催の催しなど会員への各種情報の提供を行いました。

## 6. 会議

### ◇ 理事会

計7回の理事会を開催し、新入会員の承認、年次大会の方針の決定、学会活性化の具体策の審議などを行いました。英文誌の発行に向けた取り組みを進めるとともに、用語集の整備を進め、第1版を学会ホームページで公開しました。

理事会開催:

第19回(1997年5月22日)、第20回(1997年6月13日)、第21回(1997年7月23日)、  
第22回(1997年9月12日)、第23回(1997年11月13日)、第24回(1998年1月26日)、  
第25回(1998年3月13日)

### ◇ 評議員会

1997年6月13日(金)14:00～15:00に開催し、1998年度以降の評議員改選手順を決定しました。賛助会員の増員に向けての取り組みについて議論しました。また、1998年3月23日(月)17:30～18:30に拡大評議員会を開催し、学会活動に対して幅広く意見を求めました。特に年次大会やワークショップの日程について議論しました。

### ◇ 編集委員会

第19回(97/5/6)、第20回(97/7/8)、第21回(97/10/24)、第22回(98/1/23)、第23回(98/4/10)の計5回の編集委員会を開き、電子メールによる処理も併用して、充実した査読、迅速な掲載を行ないました。また、特集号「談話・対話の心理学的・言語学的モデル」、および「音声認識・理解・合成のための日本語処理」を企画し編集作業を続けています。英文論文誌の刊行に向けて辻井委員長、島津前理事を中心に作業を行ない、有力な出版社と折衝しています。

### ◇ 年次大会実行委員会

電子メールを使った会議、ならびに協議を主にして、年次大会の準備を進め、委員会の開催はプログラム作成時に1回行ないました。

### ◇ 臨時総会

1997年3月28日(金)11時40分より、京都大学工学部電気系総合館1F大講義室において臨時総会を開催しました。会則12条(任期)第1項の改正(会長および副会長を除く役員および評議員の任期を4年とし、再任不可とする件)を諮り、承認を得ました。

## 7. 評議員選挙

1998年度評議員選挙の結果、19名の新任評議員を選出しました。

### (a) 選挙権総数(2月28日現在 会員数) 544票

(選挙有効定足数 55票 = 正会員総数の1/10以上)

有効票 197票

無効票 0票

### (b) 開票結果

(当選必要得票数 99票 = 有効投票数の過半数以上)

理事会推薦候補者19名の得票: 最小180票～最多190票

(理事会推薦候補者以外を指定した投票はありませんでした)

### (c) 選挙結果

理事会推薦候補者19名は、選挙権総数の10分の1以上の投票を得て、投票総数の過半数(99票)を越える票を獲得し、全員が当選しました。

(3) 言語処理学会 1997 年度決算報告 (自 1997.4.1 ~ 至 1998.3.31)

勘定科目	金額 (円)	備考
小科目		
収入科目		
個人会費	4,633,900	@8,000 円× 527, @7,600 × 4, @4,000 × 96, @3,500 × 1
賛助会費	1,000,000	@50,000 円× 20
特殊購読費	320,000	@10,000 円× 32
別刷り代	1,040,000	97 年度分 21 論文
第 3 回年次大会収入	3,237,113	
雑収入	100,060	バックナンバー @5,000 × 16, @3,000 × 2, 預金利息
合計	10,331,073	
前年度繰越収支差額	9,069,100	
収入合計	19,400,173	
支出科目		
論文誌印刷 / 配送費	2,573,025	別刷り・送料込み 900 部 / 号
論文誌編集費	293,000	LaTeX 化作業費
業務委託費	1,458,926	基本会員業務 772,000(学会センタ), 宛名レ ベル発行, ニュースレター印刷発送費, 等
(4) 通信費	201,390	
(5) 理事会 / 編集委員会費	69,405	理事会 7 回、編集委員会 4 回、会場費等
(6) 第 4 回年次大会開催費	3,295,608	第 4 回年次大会収支報告書参照
(7) 諸経費	332,114	大会発表優秀賞、宅配便等
当期支出合計	8,223,468	97 年度内に発生・実施された事柄に対する 支払を対象とする
次年度繰越収支差額	11,176,705	
支出合計	19,400,173	

- 上記の通り報告いたします。

言語処理学会 副会長 (総務・財務担当兼務) 飯田 仁 (署名・捺印)

- 監査の結果, 上記の結果に相違ありません。

言語処理学会 監事 石綿 敏雄 (署名・捺印)

言語処理学会 監事 瀧 一博 (署名・捺印)

(4) 1998 年度事業計画

1. 運営・活動方針

言語処理学会の主要活動であります会誌の発行が軌道に乗り、また年次大会についても回を重ねるごとに発表論文、ならびに参加者が増え、会員相互の情報交換を進める場が定着してきました。本年度は言語処理に関連する研究分野間で、より一体となった情報交換や研究活動ができるように取り組みを強化します。そのために、会誌の特集号を企画し、英文誌発行の体制づくりに努めます。関連研究分野間の相互理解のために用語集の整備を継続して進めます。また、海外の関連学会との連携を模索します。

## 2. 会誌の発行

自然言語処理分野で世界的な英文論文誌の実現を目指します。現在の日本語論文誌の電子化を目指し検討を行いません。具体的には、学術情報センターにおいて学会論文誌の電子化を進めるプロジェクトがあり、これに本会の論文誌が参加するかどうかの検討も行いません。また、新規の特集号として「テキスト要約ための言語処理」を企画いたします。

◇ 第5巻2号(1998/4/10発行、通巻15号)(発行済み)

巻頭言、論文4編、入会案内・執筆案内等会告

◇ 第5巻第3号(1998/7/10発行)

◇ 第5巻第4号(1998/10/10発行)

◇ 第6巻第1号(1999/1/10発行)

特集号(1998-1999年度発行予定。ただし、場合によっては通常号と合本もありうる。)を予定しています。

## 3. 第5回年次大会の開催

◇ 開催期日: 1999年3月15日(月)～19日(金)

◇ 会場: 電気通信大学(〒182-8585 調布市調布ヶ丘1-5-1)

◇ プログラム

[チュートリアル講演]

3月15日(月)3件

[招待講演]

3月16日(火)2件

[一般発表 講演発表]

3月16日(火)～18日(木)発表予定件数140件

[一般発表 ポスター発表]

3月16日(火)～18日(木)発表予定件数40件

◇ 併設ワークショップ

3月19日(金)にワークショップの開催を企画しています。

## 4. 会議

◇ 総会

通常総会を本年度と同時期に開催します。

◇ 理事会

昨年度同様に開催します。英文誌の発行に向けての体制作りを進めます。

◇ 評議員会

総会に合わせて1998年度の第2回会合を開催します。賛助会員の増員に向けての具体的な施策、学会全体の活動強化に向けた施策のほか、英文誌への取り組みについて議論します。

◇ 編集委員会

編集委員会を会誌の発行に合わせて開催し、電子メールを有効に使って迅速、かつ充実した査読を行いません。英文論文誌、会誌の電子化などについて検討します。特集号を企画します。なお、編集委員会の新体制として、総編集長を樽松前理事から辻井現編集長に、また編集長を辻井現編集長から島津前編集理事に変更し、英文論文誌刊行へ向けての体制を整えます。

## 5. ニュースレターの発行

WWW ホームページ、学会メーリングリストの管理体制の充実と連携し、ニュースレターの電子化・電子配布体制の整備を行います。ただし、特別に希望のある会員を対象として郵送配布を継続して行います。

## 6. 名簿の発行

名簿の改訂版を発行します。（前回は 1996 年 9 月発行）

## 7. 1998 年度評議員構成（別紙参照）

2 名の留任評議員を役員に選出したため、この 2 名が評議員を辞退します。

## 8. 1998 年度役員構成（別項参照）

1998 年度第 1 回評議員会（1998 年 4 月 23 日開催）において、別紙の役員が選出されました。任期を終える会長・副会長・監事が交替し、留任理事に加え、7 名の新任理事、2 名の新任監事と 2 名の顧問を設けます。

## (5) 言語処理学会 1998 年度予算案 試算 (自 1998.4.1 ～至 1999.3.31)

勘定科目	金額 (円)	備考
小科目		
収入科目		
個人会費	4,400,000	正会員 @8,000 × 550 名
	400,000	学生会員 @4,000 × 100 名
賛助会費	1,000,000	賛助会員 @50,000 × 20 名
特殊購読費	300,000	購読会員 @10,000 × 30 組織
別刷り代	1,280,000	別刷り @40,000 × 24 論文 / 年、2 特集 計 12 論文
第 5 回年次大会収入	3,500,000	
雑収入	60,000	会誌販売代、利息等
収入見込み計	10,940,000	
前年度繰越収支差額	11,176,705	
収入合計	22,116,705	
支出科目		
論文誌印刷 / 配送費	4,200,000	別刷り・送料込み 900 部 / 号、@700,000 × 4 号、特集号 @700,000 × 2 号
論文誌編集費	450,000	@15,000 × 30 論文、LaTeX 化作業費、会告 等編集費を含む
業務委託費	1,500,000	基本会員業務 800,000(学会センター)、宛名ラ ベル発行、発送費等加算
通信費	550,000	ニューズレター送付、総会案内報告、名簿送 付、住所確認案内、査読通知等 (@90 × 700 通 × 3 回、@270 × 900 通、@100 × 700 通、 等)
理事会 / 編集委員会 / 評議員会費	200,000	@15,000 円 × 10 回、会場費 50,000 円
第 5 回年次大会開催費	3,500,000	
別刷り代援助資金	150,000	別刷り @30,000 × 5 論文 / 年
諸経費	1,320,000	98 年版名簿作成費 (400,000)、大会発表優 秀賞、英文誌発行準備費 (500,000)、等
支出見込み計	11,870,000	
次年度繰越収支差額	10,246,705	
支出合計	22,116,705	



(6) 言語処理学会 1998 年度評議員一覧

1996-1999 年度評議員 (留任)

氏名	所属	氏名	所属
池田 尚志	岐阜大	井佐原 均*	通信総研
植村 俊亮	奈良先端大	奥村 学	北陸先端大
絹川 博之	日立	黒橋 禎夫	京大
坂本 仁	沖電気	田窪 行則*	九大
田中 裕一	ジャストシステム	徳永 健伸	東工大
鳥澤 健太郎	東大	平川 秀樹	東芝
藤田 稔	キャノン	松井 くにお	富士通
丸山 直子	東京女子大	元吉 文男	電総研
湯村 武	三洋		

計 17 名 (50 音順)

\* 理事に選出されたため辞退

1998-2001 年度評議員 (新任)

氏名	所属	氏名	所属
石川 徹也	函情大	江原 暉将	NHK
奥村 明俊	NEC	亀田雅之	リコー
神門 典子	学情	北 研二	徳島大
清野 正樹	松下	郡司隆男	阪大
斎藤 博昭	慶大	佐藤 滋	東北大
島津 明	北陸先端大	鈴木克志	三菱電機
武田 浩一	日本 IBM	富浦洋一	九大
中澤 恒子	東大	中村順一	京大
松本 裕治	奈良先端大	宮崎 正弘	新潟大
柳田 益造	同志社大		

計 19 名 (50 音順)

(7) 言語処理学会 1998-1999 年度役員一覧

役員名	氏名	所属
会長	飯田 仁	ATR
副会長 (編集担当兼務)	辻井 潤一	東大
理事 (編集担当)	中川 裕志	横浜国大
理事 (編集担当)	田窪 行則	九大
理事 (編集担当)	池原 悟	鳥取大
理事 (事業担当)	中野 洋	国研
理事 (事業担当)	片桐 恭弘	ATR
理事 (事業担当)	井佐原 均	通信総研
理事 (事業担当)	浦谷 則好	NHK
理事 (事業担当)	岡田 直之	九工大
理事 (渉外担当)	荻野 綱男	都立大
理事 (渉外担当)	橋田 浩一	電総研
理事 (総務・財務担当)	白井 諭	NTT
理事 (総務・財務担当)	小林 哲則	早大
	(以上 14 名)	
監事	樽松 明	電通大
監事	白井 克彦	早大
	(以上 2 名)	
顧問	長尾 真	京大
顧問	田中 穂積	東工大
	(以上 2 名)	

(8) 1997年度会費納入状況(1998年3月31日現在)

	会員総数	納入済み件数	未納件数	
正会員	563	527	36	
学生会員	125	97*	28	
賛助会員	16	20**	0	* 1名500円不足
購読会員	31	32***	3	** 2口加入あり
合計	747	680	71	*** 前年度分4口を含む

(9) 言語処理学会第4回年次大会収支報告(1998年5月20日現在)

科目	内訳	金額
収入	本大会参加費(332名)	1,408,000
	チュートリアル参加費(103名)	304,500
	ワークショップ参加費(47名)	736,000
	懇親会参加費(92名)	261,000
	本大会発表論文集売上(52冊)	228,000
	チュートリアル資料売上(33冊)	122,000
	ワークショップ論文集売上(38冊)	166,000
	ワークショップ参加キャンセル料(2件)	11,525
	普通預金利息	88
	収入合計	3,237,113
支出	講義室使用料、学生係員謝金、等	450,945
	ワークショップ開催費	551,565
	講演料+講師旅費	300,860
	懇親会開催費	315,000
	論文集印刷費 (チュートリアル、本大会、ワークショップ)	1,134,000
	大会業務委託費用	435,590
	大会当日参加登録業務、旅費、宿泊費	92,250
	予稿集販売業務委託費用	10,983
雑費	大会口座開設用印鑑	473
	郵送費	3,470
	振込手数料	472
	支出合計	3,295,608
収支		- 58,495

(10) 事務局郵便番号の改正(案)の件

郵便番号の7桁化に伴い、会則「第2条(所在地)」の郵便番号を152-8552と改正します。

(現行) 会則「第2条(所在地)」本会は事務局を〒152 東京都目黒区大岡山2-12-1 東京工業大学大学院情報理工学研究科計算工学専攻 田中研究室内に置く。

(改正案) 会則「第2条(所在地)」本会は事務局を〒152-8552 東京都目黒区大岡山2-12-1 東京工業大学大学院情報理工学研究科計算工学専攻 田中研究室内に置く。

なお、学会事務局を東工大・田中研究室に当面は固定設置し、会長改選に伴う会則変更はしないこととします。学会口座名義も「言語処理学会代表 田中穂積」のままとして当面は継続します。

# 言語処理学会第5回年次大会開催案内

5th Annual Meeting of the Association for Natural Language Processing (NLP-99)

開催日時:	平成11年 3月15日(月)	チュートリアル
	3月16日(火)~18日(木)	本会議
	3月19日(金)	併設ワークショップ
会場:	電気通信大学(東京調布市調布ヶ丘 1-5-1)	
懇親会:	3月16日(火)午後6時~	

例年3月に開催しております言語処理学会年次大会を今年度は電気通信大学で開催します。例年通り、自然言語に関する理論から応用まで幅広い研究発表を募集します。

従来通り研究発表は口頭による一般発表(質疑とも20分間)とポスター発表のいずれかの形態を取ります。特に、いわゆる文系と理工系の研究者の交流をより密に図るため、ポスター発表を積極的に募集します。様々な分野の研究者とのインフォーマルな議論を期待される方は、是非ポスター発表への投稿をお願いします。一般発表とポスター発表は時間帯を分け、両者が同時並行に走らないよう考慮する予定です。ポスター発表ではパソコン持ち込みなどによるデモ等も歓迎します。なお、両発表とも、予稿集には最大4頁の論文を掲載する予定です。

また、今回の大会では、「コーパスに基づく談話・対話研究」という特別セッションを昨年に続いて設けます(詳細は後述)。こちらにも積極的にご投稿をお願いします。

以下のチュートリアルと招待講演を予定しています。

## 【チュートリアル】3月15日(月)

Tutorial 1: 9:00-10:45

伊藤 克亘(電総研), 山本 幹雄(筑波大学), 河原 達也(京都大学)

### 「日本語ディクテーション基本技術」

パソコン上で稼働する音声ディクテーションソフトウェアが開発され、音声分析、音響モデル、形態素解析、統計的言語モデル、連続音声認識アルゴリズムなど、音声認識の基本技術の集大成である不特定話者大語彙連続音声認識技術が身近なものとなってきた。まず、米国と日本を中心に音声ディクテーションシステムの動向を述べる。次にIPA(情報処理振興事業協会)のプロジェクトにおいてフリーソフトウェアとして開発中の日本語ディクテーション基本ソフトウェアを例に、実演をまじえながら、その概要および使い方に関する説明を行う。さらに、統計的言語モデルの構築に関する実践的な解説を行う。

Tutorial 2: 11:00-13:00

佐藤 理史(北陸先端科学技術大学院大学/さきがけ21)

### 「インターネットのためのテキスト処理」

インターネットとワールドワイドウェブの爆発的普及は、テキスト処理や自然言語処理に新たな展開の契機をもたらしつつある。現在、膨大かつ多様なテキストが電子的に入手可能であり、効果的に利用されるのを「待っている」状態である。本チュートリアルでは、まず、現在の検索エンジンの中心的実現技術であるキーワード検索をおさらいした後、より高度な検索支援や情報提供サービスを実現するためのテキスト処理技術について述べる。今後必要とされる技術は、情報収集、取捨選択、要約作成、自動分類などの情報の組織化技術であり、これらを要素技術として利用した、情報の自動編集に関する我々の研究についても紹介する。

Tutorial 3: 14:00-17:00

窪菌 晴夫 (神戸大学)

「最適性理論」

欧米の言語学界で「最適性理論」(Optimality Theory)と呼ばれる理論が注目を集めている。これは言語分析の常識であった「規則」「派生」という概念を否定し、「制約」(constraint)だけで言語現象を記述・説明しようとする理論であり、出発点となった音韻論の枠を越えて、統語論や意味論、社会言語学、心理言語学、歴史言語学の分野にも影響を及ぼしている。本チュートリアルでは、言語現象の背後にある「制約」とはどのようなものであり、制約に基づく新しい言語分析が従来の分析に比べどのような点で優れているのかという問題を中心に最適性理論の基本的な特徴を概観し、この新しい理論が潜在的に抱えている問題点をいくつか指摘してみたい。

【招待講演】

招待講演 1: 3月16日(火) 1:00-2:30

萩原 裕子 (東京都立大学)

「失語症および脳波から言語処理を見る」

脳と言語の研究で根本的な問題の一つは、頭の中で起こっている言語演算処理の本質を探ることにある。演者は「生成文法理論」を切り口として、失語症や事象関連電位といった脳神経科学で一般に用いられる実験手法を駆使して、「言語表示とその処理の脳内メカニズム」の解明に取り組んできた。本講演では、ごく最近の成果を中心に紹介する。具体的には、文法に際だった障害を示す「失文法ブローカ失語」では、言語の種類を問わず一定の規則的な障害パターンが認められること、語の意味理解に障害をきたす「語義失語」では意味のパターン認識が障害されていること、脳内での統語解析はボトムアップ処理の可能性があること、言語の違いにより文法を処理する脳内基盤が異なることなどを示す。さらに、これらの知見をもとにしてヒト言語計算システムの脳内基盤について総括的に検討したい。

招待講演 2: 3月18日(木) 1:00-2:30

神田 和幸 (中京大学)

「手話の言語的特徴」

視覚言語である手話には日本語や英語のような音声言語にはない特徴がある一方、人間の自然言語として共通する特徴もある。音声言語は音声は1次元的に配列されるため、音から形態素、形態素から語への分節には配列順序が規則化される。さらに統語的關係にも配列順序が関与する。手話は音に相当する要素が空間に提示されるため、同時的配列と逐次的配列が併用される。統語關係にも両者が併用される。この特徴から手話語彙の記号的恣意性は音声言語に比べると写像性が高い。しかし世界の手話を見ると言語ごとの違いがはっきりしており、手話は世界共通ではない。記号的能記と所記の關係は一部には写像性があるものの、社会的規約性は高い。これらの特徴を例示し、その言語処理法の実例を示す。

【特別セッション】コーパスに基づく談話・対話研究

近年、電子化テキスト・音声対話コーパスなどの言語資源が蓄積されるにともなって、実データに現れる言語現象の分析を重視した実証的なアプローチが盛んになるとともに、理論的研究においても実例に基づく検証の重要性が再確認されつつあります。とくに、談話・対話の分野においては、言語使用の実場面との関わりが強く、実データに基づく研究は不可欠と言えるでしょう。

そこで、本大会では昨年に続き特別セッションとして、コーパスに基づく談話・対話研究と題し、以下のような話題に関して口頭発表を募集し、議論の場を設けたいと思います。

- 発話行為、比喩、照応・代名詞などに関する実証的研究

- 談話分析 (談話構造, 修辞構造, 談話標識など)
- 音声対話分析 (話者交替, あいづち, ジェスチャーなど)
- 話し言葉の分析 (省略, 倒置, 言い淀み, 言い直しなど)
- 談話理解・生成, 対話モデルの実データに基づく検証
- その他, 本セッションに関連が深いと思われるもの

会員・非会員を問わず広くさまざまな分野からの投稿を受け付けます。とくに、言語学、音声学、国語学、心理学、日本語学、日本語教育学など、日頃「言語処理」とは関連が薄いとされておられる人文系の研究者からの積極的な投稿を期待しています。

### 【併設ワークショップ】3月19日(金)

ワークショップ「構文解析－現状の分析と今後の展望－」

ワークショップのご案内を参照してください

### 【大会発表申し込み締切・通知・論文提出期限】

発表申し込み締め切り: 1999年1月8日(金)

採否の通知: 1999年1月14日(木)

最終論文の提出期限: 1999年2月12日(金)

### 【大会発表申し込み先】

発表申し込みは、発表題目、著者、概要を以下の発表申込書を用いて郵便、FAX、電子メールのいずれかでお送り下さい。

送付先: 〒923-1292 石川県能美郡辰口町旭台 1-1  
北陸先端科学技術大学院大学 情報科学研究科  
島津 明  
Fax: 0761-51-1149  
Email: nlp99-apply@recall.jaist.ac.jp

### 【応募規定】

#### 1. 応募資格

発表者または連名者の中に言語処理学会正会員または学生会員が含まれていることが必要です。ただし、特別セッションへは会員、非会員を問わず応募することができます。(入会の方法は下記の大会事務局までお問合せください。)

#### 2. 講演発表・ポスター発表該当分野は以下(a-f)から選択してください。

- a. 音韻論, 形態論, 構文論, 意味論, 語用論, 記号論, 計量言語学, 計算言語学, 心理言語学, 対照言語学, 認知言語学, 社会言語学, 音声学
- b. 計算辞書学, ターミノロジー, 電子化辞書, テキストデータベース, ドキュメンテーション
- c. 言語処理アルゴリズム, 言語処理用ハードウェア・ソフトウェア, 解析・生成システム, 言語理解, 対話理解, 音声理解, 談話理解, 音声言語処理
- d. ワードプロセッサ, 機械翻訳, 情報検索, 対話システム, 自然言語インタフェース, ハイパーテキスト
- e. 特別セッション「コーパスに基づく談話・対話研究」
- f. その他

## 【大会参加申込】

大会の参加申し込みは、最後に添付の申し込み用紙(チュートリアル, 大会, ワークショップ兼用)を利用して、以下にお送り下さい。

送付先: 〒565-0082 豊中市新千里東町 1-4-2 千里LCビル 14F  
学会センター関西内 言語処理学会年次大会係  
fax: 06-873-2300 (平成11年1月1日より 06-6873-2300)  
email: o-socie@bcasj.or.jp

## 【参加費】

大会	2月15日まで	それ以降	会場
会員:	4,000円	6,000円	6,000円 (それぞれ予稿集1冊を含む)
学生会員:	2,000円	3,000円	3,000円 (それぞれ予稿集1冊を含む)
非会員:	6,000円	9,000円	9,000円 (それぞれ予稿集1冊を含む)
学生非会員:	3,000円	4,000円	4,000円 (それぞれ予稿集1冊を含む)
予稿集のみ:	5,000円	5,000円	3,000円 (会場での当日販売は送料含まず)

  

チュートリアル	2月15日まで	それ以降	会場
会員:	3,000円	5,000円	5,000円 (それぞれ予稿集1冊を含む)
学生会員:	1,500円	2,000円	2,000円 (それぞれ予稿集1冊を含む)
非会員:	5,000円	8,000円	8,000円 (それぞれ予稿集1冊を含む)
学生非会員:	2,000円	3,000円	3,000円 (それぞれ予稿集1冊を含む)
予稿集のみ:	4,000円	4,000円	3,000円 (会場での当日販売は送料含まず)

  

懇親会 (なるべく事前申し込みをお願いします)			
一般:	4,000円	4,000円	4,000円
学生:	2,000円	2,000円	2,000円

## プログラム委員会

委員長: 島津 明 (北陸先端大)

乾 健太郎 (九工大) 井佐原 均 (通信総研) 大石 亨 (北陸先端大) 荻野綱男 (東京都立大)  
奥村 学 (北陸先端大) 神門典子 (学情) 樽松 明 (電通大) 郡司隆男 (大阪大)  
佐藤 滋 (東北大) 竹澤寿幸 (ATR) 田窪行則 (九州大) 中野 洋 (国語研)  
橋田浩一 (電総研) 丸山直子 (東京女子大)

## 実行委員会

委員長: 樽松 明 (電通大)

浦谷則好 (NHK) 尾関和彦 (電通大) 金子正秀 (電通大) 久野雅樹 (電通大)  
田野俊一 (電通大) 長井隆行 (電通大) 橋本清 (電通大) 古郡廷治 (電通大)

言語処理学会 第 5 回 年次大会  
講演発表・ポスター発表申込書

送付先: 〒 923-1292 石川県能美郡辰口町旭台 1-1  
北陸先端科学技術大学院大学 情報科学研究科  
島津 明  
fax: 0761-51-1149  
e-mail: nlp99-apply@recall.jaist.ac.jp

発表種別: 講演発表・ポスター発表・特別セッション (いずれか明記してください)

表題:

著者名 1:

フリガナ 1:

所属 1:

会員番号 1:

著者名 2:

フリガナ 2:

所属 2:

会員番号 2:

著者名 3:

フリガナ 3:

所属 3:

会員番号 3:

該当分野: a・b・c・d・e・f

使用希望機材 (講演発表):

OHP・スライド・カセット・ビデオ (VHS)・その他 (詳しく)

使用予定および希望機材 (ポスター発表):

発表要旨 (300 字程度):

連絡およびプログラム等の送付先

住所: 〒

所属:

氏名:

会員または非会員の別:

tel:

fax:

e-mail:

- 
- 注 1) プログラムは本欄記入事項により作成しますので、提出後の題目、氏名の変更はできません。
- 注 2) 発表者を○印で表示してください (氏名の左) 所属名が長い場合、短縮名を括弧書きで添付して下さい。プログラム作成時に使用します。
- 注 3) 著者が 3 名以上の場合は、上記と同様に番号を追加してください。
- 注 4) 実施要領の該当分野を参照して記入してください。
- 注 5) 講演発表の場合の使用機材については準備できない場合もありますので、その場合は事務局から問い合わせをさせていただきます。
- 注 6) ポスター発表の場合の使用および希望機材についてはできるだけ詳しくご記入ください。会場の都合で制限がある場合がありますので、詳細は事務局から問い合わせさせていただきます。
- 注 7) 会員番号は、入会手続き中の場合、非会員の場合は、その旨、記入してください。



# 言語処理学会第5回年次大会 併設ワークショップのご案内

以下の要領で表記のワークショップを開催いたしますので、ふるってご参加ください。

## 日時・会場

開催日時： 1997年3月19日(金) 10時から18時(予定)

会場： 電気通信大学

ワークショップの名称： 「構文解析 -現状の分析と今後の展望-」

## 開催趣旨

形態素解析が一応の実用レベルに達しつつある現在、構文解析の精度向上が、これからの実用自然言語処理にとって、重要な課題となっている。この分野は、古くから、さまざまな手法が提案され、特に近年は、統計的な手法が多く試みられてきた。しかし、なかなか高い精度が得られないのが現状である。本ワークショップは、構文解析のこれまでの進展を踏まえて、今後の展望を得ることを目的とする。以下のテーマなどについて発表と議論を行なう予定である。

- 規則方式の新展開はあるのか
- 統計方式の限界は克服できるか
- 実用を目指したロバストな構文解析
- 応用から見た構文解析への要求条件
- 現状を打開する新しい考え方
- 構文解析に必要な情報は何か、使える情報は何か

## 提案者

田中穂積	東京工業大学	古郡廷治	電気通信大学
池田尚志	岐阜大学	池原悟	鳥取大学
乾健太郎	九州工業大学	亀田雅之	リコー
柏岡秀紀	A T R	黒橋禎夫	京都大学
宮崎正弘	新潟大学	中川裕志	横浜国立大学
尾関和彦	電気通信大学	下畑さより	沖電気
新納浩幸	茨城大学	白井清昭	東京工業大学
富浦洋一	九州大学	鳥澤健太郎	東京大学
宇津呂武仁	奈良先端科学技術大学院大学	吉村賢治	福岡大学
江原暉将	N H K		

## ワークショップ発表申し込みについて

発表申し込み締め切り： 1999年1月8日(金)

採否の通知： 1999年1月14日(木)

最終論文の提出期限： 1999年2月12日(金)

発表申し込みは、別紙発表申込用紙に記入の上、(できれば、電子メールで)以下にお送りください。

発表申し込み先：

江原暉将

〒 157-8510 東京都世田谷区砧 1-10-11

NHK放送技術研究所

tel. 03-5494-2308 fax. 03-5494-2371

メール eharate@strl.nhk.or.jp

連絡先・問い合わせ先：

江原暉将

〒 157-8510 東京都世田谷区砧 1-10-11

NHK放送技術研究所

tel. 03-5494-2308 fax. 03-5494-2371

メール eharate@strl.nhk.or.jp

**ワークショップ参加申し込みについて：**

できるだけ事前参加申込をして下さい。

事前参加申し込みの締め切り：

1999年2月15日

事前申し込みの参加費：

会員 3,000円 (それぞれ予稿集1冊を含む)

学生会員 1,500円 (それぞれ予稿集1冊を含む)

非会員 5,000円 (それぞれ予稿集1冊を含む)

学生非会員 2,000円 (それぞれ予稿集1冊を含む)

予稿集のみ購入 4,000円

当日申し込みの参加費：

会員 5,000円 (それぞれ予稿集1冊を含む)

学生会員 2,000円 (それぞれ予稿集1冊を含む)

非会員 8,000円 (それぞれ予稿集1冊を含む)

学生非会員 3,000円 (それぞれ予稿集1冊を含む)

予稿集のみ購入 4,000円

参加事前申し込みは、別紙参加申込用紙に記入の上、(できれば、電子メールで)以下にお送り下さい。

参加申し込み先：

〒 565-0082 豊中市新千里東町 1-4-2 千里LCビル 14F

学会センター関西内 言語処理学会年次大会係

fax: 06-873-2300 (平成11年1月1日より 06-6873-2300)

email: o-socie@bcasj.or.jp

言語処理学会 第 5 回 年次大会  
併設ワークショップ発表申込書

送付先: 〒 157-8510 東京都世田谷区砧 1-10-11  
NHK 放送技術研究所  
江原暉将  
fax: 03-5494-2371  
e-mail: eharate@strl.nhk.or.jp

表題:

著者名 1:

フリガナ 1:

所属 1:

会員番号 1:

著者名 2:

フリガナ 2:

所属 2:

会員番号 2:

著者名 3:

フリガナ 3:

所属 3:

会員番号 3:

使用希望機材:

OHP・スライド・カセット・ビデオ (VHS)・その他 (詳しく)

発表要旨 (300 字程度):

連絡およびプログラム等の送付先

住所: 〒

所属:

氏名:

会員または非会員の別:

tel:

fax:

e-mail:

---

注 1) プログラムは本欄記入事項により作成しますので、提出後の題目、氏名の変更はできません。

注 2) 発表者を○印で表示してください (氏名の左) 所属名が長い場合、短縮名を括弧書きで添付して下さい。プログラム作成時に使用します。

注 3) 著者が 3 名以上の場合、上記と同様に番号を追加してください。

注 4) 使用機材については準備できない場合もありますので、その場合は事務局から問い合わせをさせていただきます。

注 5) 会員番号は、入会手続き中の場合、非会員の場合は、その旨、記入してください。

# 言語処理学会 第 5 回 年次大会 参加申し込み書

送付先: 〒 565-0082 豊中市新千里東町 1-4-2 千里 LC ビル 14F  
学会センター関西内 言語処理学会年次大会係  
fax: 06-873-2300 (平成 11 年 1 月 1 日より 06-6873-2300)  
e-mail: o-socie@bcasj.or.jp

この申込書は大会・チュートリアル・ワークショップ参加者と参加費の入金を正確に把握するためのものです。正確にご記入のうえ送付ください。

## 大会参加費:

会員:	4,000/	6,000円	×	件
学生会員:	2,000/	3,000円	×	件
非会員:	6,000/	9,000円	×	件
学生非会員:	3,000/	4,000円	×	件
予稿集:		5,000円	×	件

参加者 01:

所属 01:

参加種別 01:        会員   学生会員   非会員   学生非会員

参加者 02:

所属 02:

参加種別 02:        会員   学生会員   非会員   学生非会員

参加者 03:

所属 03:

参加種別 03:        会員   学生会員   非会員   学生非会員

チュートリアル参加費:

会員:	3,000/	5,000円	×	件
学生会員:	1,500/	2,000円	×	件
非会員:	5,000/	8,000円	×	件
学生非会員:	2,000/	3,000円	×	件
予稿集:		4,000円	×	件

参加者 51:

所属 51:

参加種別 51:        会員   学生会員   非会員   学生非会員

参加者 52:

所属 52:

参加種別 52:        会員   学生会員   非会員   学生非会員

参加者 53:

所属 53:

参加種別 53:        会員   学生会員   非会員   学生非会員

懇親会参加費:

一般: 4,000円 × 件  
学生: 2,000円 × 件

参加者 61:

所属 61:

参加種別 61: 一般 学生

参加者 62:

所属 62:

参加種別 62: 一般 学生

参加者 63:

所属 63:

参加種別 63: 一般 学生

ワークショップ参加費::

会員:	3,000円	×	件
学生会員:	1,500円	×	件
非会員:	5,000円	×	件
学生非会員:	2,000円	×	件
予稿集:	4,000円	×	件

参加者 51:

所属 81:

参加種別 81:        会員   学生会員   非会員   学生非会員

参加者 82:

所属 82:

参加種別 82:        会員   学生会員   非会員   学生非会員

参加者 83:

所属 83:

参加種別 83:        会員   学生会員   非会員   学生非会員



合計金額: 円

送金方法:

銀行振込 三和銀行  
千里中央支店  
普通預金口座 5243431  
口座名義 言語処理学会大会 代表 田中 穂積

郵便振替 番号 00920-1-22357  
名称 (財)日本学会事務センター大阪事務所

送金年月日: 年 月 日

送金人名義:

通信欄:

連絡先:

住所: 〒

所属:

氏名:

tel:

fax:

e-mail:

---

注1) 参加者が3名以上の場合は、上記と同様に番号を追加してください。

注2) 送金方法はどちらか一方を記入してください。

注3) 手数料は各自ご負担ください。

注4) 送金は大会1週間前の3月8日(月)までをお願いします。それ以降は、大会当日をお願いします。

---

問い合わせ先:

学会に関する問い合わせは「学会センター関西」にお願いします.

〒565-0082 豊中市新千里東町 1-4-2

千里ライフサイエンスセンタービル 14F

学会センター関西 (担当: 山元 理恵)

tel: (06)873-2301 (平成 11 年 1 月 1 日より 06-6873-2301)

fax: (06)873-2300 (平成 11 年 1 月 1 日より 06-6873-2300)

email: o-socie@bcasj.or.jp

ニュースレター担当: 片桐恭弘

〒619-0288 京都府相楽郡精華町光台 2-2

ATR 知能映像通信研究所

fax: 0774-95-1408

e-mail: katagiri@mic.atr.co.jp